

## みうらトーク&トーク 第5弾

日 時 平成20年1月29日（火）

10時00分から11時00分

場 所 潮風アリーナ会議室

参 加 者 市民17名

市側 6名

テ ー マ 子育てについて

内 容

資料に基づき説明（子育て支援課）

意見交換

（市 長）

三浦市の子育てで環境が他市に比べ劣るということを時々聞かれると思います。

予算を決める時には、必ず近隣市町村と比較を行います。横須賀、逗子、葉山などや県内の市町村と比べても、子育て支援については、それほど変わらないと思っています。ただ、ハード面では、子育て教育をする場所がないなどでご迷惑をかけています。

みなさんのお友達の方は、近隣の市にも住んでいると思いますが、その方から子育ての事業について、三浦市と違うものを行っていることがありましたら教えていただきたい。

（市 民）

三浦市では公園、広場の数はあるが、もう少し充実させてもらいたい。

横浜にプレイパークというところがあり、そこでは、責任者がいて、どろんこ遊び、かまどで火をおこしたり、木登り、ベーゴマなど昔の遊びを教えてください。

三浦市は、自然がたくさんあるがこういう所がないと思います。

（市 長）

他にお気づきなことがありましたらお願いします。

（市 民）

図書館が充実していないと思います。例えば、絵本が少ない、本に貼るバーコードが絵本の読むところに貼ってあったりしています。

他には、横須賀市から本を借りられるが三浦市でその本を返すことが出来ないのが不便です。



(市 長)

図書館のお話については、全市民から出ている問題です。

市民センター２箇所と青少年会館で図書館があるが、本も少なく申し訳ないと思っています。

先週の土曜日に中学生が議員になってもらう「みうらっ子議会」を行いました。そこでも、同じ話が出ていまし、市議会でも話が出ています。

現状で図書館の構想をもっていますが、三崎高校跡地の利用が正式に方向性が示されていません。しかし、３つの図書館を一箇所にもっていくことや他に学生が勉強する場所もないので問題意識をもっています。図書館を作るなら、きちんとしたものを作ろうと思っています。

蔵書については、三浦市だけ確保するというのも財政的な面でもなかなか難しいので、近隣の横須賀市などと連携をして、検索をすれば、その本が手に入るようなシステム作りを考えています。

図書館の現状について満足はしていませんが、今ある３つある図書館については、対応が悪かったり、本が無かったりした部分については、徐々に直していきます。

(市 民)

横須賀市だと本をひとり１０冊借りられるが、４冊しか借りられない、もっと増やしてほしい。他には借りられる期間が２週間なので借りた曜日に返せない、返せるようにしてほしい。

(市 長)

それは、対応できると思いますので図書館の方に話をしておきます。

絵本について聞きたいのですがやはり少ないと思いますか。

(市 民)

それよりも絵本が上の棚にあるので、子どもの目線にするなどの配慮が欲しいです。

(市 民)

総合図書館の話が出たのでお聞きしたいのですが、計画がいつ頃を目処に行うか教えて下さい。

(市 長)

三崎高校跡地の活用計画を作りあげていこうと考えています。県立高校なので神奈川県財産であったのですが、約５億２千万円かけて三浦市の財産になりました。毎年平均５千２百万円を１０年の分割で県に支払いをしていきます。この支払いが終わるまで財産の処分が出来ないことになっています。かなり広い区域ですから、例えば、土地の一部を切り売りするとしても返済が終わらないと出来ません。

全体の計画を一度作ったのですが、現在の状況では、老人施設のニーズが高いこともあり、それが中心なもので計画されました。

三崎高校跡地は、三崎、南下浦、初声の3つの地域の中心核であり、市民のみなさんが交流するための施設整備を行おうと思っています。

総合計画というものがあります。これは、将来、三浦市をこうしようという大きな計画です。

（仮称）市民交流拠点整備基本計画を昨年度に作ったのですが、その計画が老人施設を中心のものとして計画されていたので、振り出しに戻しました。

新たに計画を作っていかなければならないのですが、例えば、横須賀市の美術館みたいなものは、財政的にも難しいです。そうすると、民間の施設を融合したものを考えていかなくてはなりません。

それを、一から振り出しでやり直そうということを、今、計画を進めていくという段階でこれから準備をするところです。

図書館の機能は、重要なものだと考えています。他には、小網代の森の関連した学習施設を作る考えもあります。現時点で明確に5年後に完成するとかのレベルではありませんが、それに向けて取り組んで行こうと思っています。

まだ三浦市は、老人施設のニーズがあるものですから作った計画が老人施設中心の計画でした。

これ以上、老人ホームがいらないというのが私の考えです。もっと若い世代に、そして将来の三浦市に有益になる施策を取りたいと思っています。

（市 民）

白紙に戻したことは、発表されていますか。

（市 長）

議会等では、（仮称）市民交流拠点整備基本計画というものがあるのですが、あせらずにじっくり行いますという表現をしています。市の方針としては、（仮称）市民交流拠点整備基本計画の見直しを予定していますという発表をしています。

（市 民）

まちの駅づくり構想がホームページから無くなっています。

（市 長）

まちの駅づくり構想は、もっと規模が大きい78億くらいの計画でしたが、見直しを行いました。

（仮称）市民交流拠点整備基本計画というものに変更しました。それは、老人施設中心の整備計画でした。様々な民間企業にヒアリングをして三浦市の現状では、民間企業のニーズとしては老人施設中心であれば成功するということでした。

それを精査した結果、老人施設中心の計画では将来の三浦にとっては、必ずしも良いとはいえないだろうということから新たな計画を作っていく予定でいます。

(市 民)

図書館の資料、百科事典が古いと思います。昨年、子どもの夏休みの宿題でインターネットでも調べきれないものがあつたので図書館に行ったら1980年の資料でした。せめて市内の1箇所にも新しいものを置いてもらいたい。

(市 長)

検討します。

(市 長)

先ほどプレイパークの話を受けましたが、他に何かありますか。

例えば、駅前近くに託児施設があつた方が良いとか。

(市 民)

子どもが自転車の練習をするのに公園まで車に自転車を乗せて練習を行っています。国道（引橋から三戸入口の間）の歩道の真ん中に樹木が立っているので自分で自転車を押していくことが出来ないからです。

樹木の配置がばらばらで、街灯が付いていないところもあるので視界が悪いし、歩道も凸凹のところもあります。

他にスポーツ公園が出来るのですが、団体でしか使えないのか教えて下さい。

(市 長)

スポーツ公園は現在、整備中です。グラウンドは、有料ですがその他は無料です。沿路を作る予定でもありますので散策してもらえenと思います。22年に完成する予定です。

(市 民)

遊具とかは、出来るのですか。

(市 長)

遊具はないと記憶しています。散歩したりしてゆっくりしてもらイメージで作っています。

(市 民)

公園の話がでたのでお話ししますが、児童公園の遊具が壊れてそのままになっています。

(市 長)

たしかに使えないものが多いと思います。それは、財政的に切り替えていくようにはしていますが、今、遊具で怪我をするケースがあるので、ちょっと不具合があると使えなくしています。

それを新しいものに切り替えていければ良いのですが、財政的に追いつかないのが現状です。

公園の担当がいますので、チェックをさせていますし、先ほど、公園の話もありましたので、子どもたちが遊ぶという視点でという話もしておきます。

(市 民)

南下浦小学校区ですが、歩道に街路灯がない場所があったりします。交通安全では、子どもが飛び出しやすい場所に電柱幕を設置して頂きたいが、学校の方から数に制限があると聞きました。

(市 長)

歩道を作れとか道幅を広げろとかいうのは難しいが、看板等の設置は対応するようにいつている。

(市職員)

予算上、電柱幕は、10枚程度しか購入していないので迷惑をかけています。他には、交通安全キャンペーン用のグッズやももたろう旗などに充てています。今後は、予算の範囲ですが、出来る限り対応していきたく考えています。電柱幕については、在庫がありますので、後で設置場所等を教えてください。

(市 民)

分かりました。

(市 民)

水間様のところや神代のバス停から児童会館のところに街灯がないところがあります。

自分が車に乗れるので、何人か乗せて送り迎えをしています。小学生はガードの人がついて帰ってもらえるが中学生はそれがないので心配です。

(市 長)

小学生や小さなお子さんの安全対策は、とても重要です。社会的な事件も起きていますが、三浦市では、たまたまないだけで、いつ起こってもおかしくないと思います。

そう言ったご要望があったことは、こちらでも把握をしておきます。

(市 民)

お願いします。

(市 長)

他に何かありますか。

(市 民)

市民センターの利用料ですが、小学生の場合だと児童の育成活動で無料になると聞いたのですが、幼児サークルは、無料ではないのですか。

(市 長)

お母さんたちからも話は聞いています。今まで明確な基準がなくばらばらなところがありました。市民センターを運営していくのには、やはりお金がかかりますので利用していただいた方に負担していただく受益者負担の原則を昨年設けました。

色々なサークルがご利用していただいています、一律、時間でいくらという額を設定しました。ただ、子育て支援という面で減免が必要であろうということで福祉部と教育委員会が検討をしています。

なるべく早い時期に回答出来るように行っていますが、利用料を全額減免でなければいけませんか。

(市 民)

大体、一回2時間で月4回使うと1600円です。

(市 民)

全額減免が無理ならば、子育て支援課に幾つかのサークルが登録していますので、例えば、そのサークルに補助金を出してもらえれば助かります。

(市 長)

子育て支援の方で登録を頂いたサークルについては、任意のサークルですが、子育て支援の登録を頂いているという観点からすると市の施設の使用料は無料する対応は出来ると思っています。早急に調整を行います。

(市 長)

他に何かありますか。

(市 民)

我孫子市で地域の方が子どもたちの授業で最初から最後まで稲作体験を指導しているところがあります。三浦でも出来ることなのかなと思いました。

(市 長)

三浦の場合は、学校によってですが、学校菜園を行っています。お米ではありませんが、ダイコンやキャベツを作っています。これは種まきから収穫までを行っています。

他には農業体験ということもやっています。これは、募集をして実際に子どもが農家の方の家にお泊りして農作業を体験してもらっています。

我孫子市の場合は、多分、田んぼを学校に提供してもらっていると思います。

三浦市も同じ視点で、このようなご意見があったということ教育委員会の方と調整してみます。

(市 民)

学校だけでは無理、地域の全体連携が必要だを書いてありました。

(市 長)

農業体験やみうらっ子探検隊などで子どもたちが三浦の良いところを自分で発見しようという取り組みも行っています。

(市 民)

引橋からスクールバスが4月から無くなってしまう話を聞いたのですが、せめて朝だけでも運行をしてもらいたいのですが。

(市職員)

即答できませんので、後でお話をさせて下さい。

(市 民)

分かりました。

(事務局)

本日は、お忙しい中、貴重な意見をありがとうございました。今後ともよろしくお願いします。これでトーク＆トークを終了します。

※ 公表については、了解を得ております。